



生活支援体制整備事業～生活支援コーディネーターの活動紹介～

「生活支援体制整備事業」は、誰もが住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう、お互いが支えあう地域づくりを行う事業です。社協職員が生活支援コーディネーターとして地域を訪問し、地域の皆さんと一緒に3つのことを行っています。

- ①地域の中にある様々な集まり（健康づくりや趣味のグループ、サロン）や、ボランティア活動などを訪問し、その様子や地域のことを知るとともに、地域の方とのつながりを広げていくこと
- ②集まりの場所でお話を聞き、「ちょっとした困りごと」を、地域の皆さんと共有すること
- ③皆さんと共有した“ちょっとした困りごと”について、その地域でできることを話し合うこと

活動の様子

・掘切地区での地域ケア会議後、地域の見守りについて説明させていただきました。



・神戸校区シルバーサロンにて、普段の生活の様子について伺いました。



・野田いきいき会（コミュニティサロン）にて、普段の生活の様子や、困りごとについて伺いました。



・漆田一区めぐみ（自主サロン）を訪問しました。健康体操の後の茶話会では、普段の生活の様子や今後サロンでやりたいことなどを話し合いました。



地域の皆さんの憩いの場、おしゃべりの場がありましたら、ぜひ教えてください

生活支援コーディネーター

（左手前から時計回りに

村松、藤井、横田、和田、鈴木）

田原福祉センター ☎23-0610

赤羽根福祉センター ☎45-3611

あつみライフランド ☎34-6630

